

この子2才大変お世話になりました。ご支援の開始から  
22か月が過ぎましたか。無事復学し、ハロウィンツキアトを  
卒業できたことを心から感謝しております。

息子が小学校6年生に上がる際、コロナ禍の  
真っただ中となり、緊急事態宣言発令により、学校が  
休校（春休みから6月まで）となりました。休校が明け  
やっと学校が再開されたか、もともと担任の先生と  
合わなかったことや、コロナ禍での体力低下、受験勉強  
との両立など、11313年ことか、重なり、また、コロナ禍で  
体調がいまいき場合、休むとか推奨されたこと  
もあり、子供は「体調が悪く学校を休みたい」と  
言うようになった際、「無理して行く必要はない」という  
気持ちで親にもありました。この時は塾の受験勉強  
も佳境とあって2ヶ月休んだので、むしろ自宅で勉強が  
出来た良いのではないか...と学校を休むことに好して  
軽く考えましたと3か月前ありました。

子供が学校に行きたくないという理由が体調面  
というので「担任の先生と合わない、担任の先生が嫌だから」と  
このことを聞いた際は、校長先生と相談したか、  
担任の先生を変えるというよりは事実上困難なことは  
親としても理解は出来ると3つでした。

体調面も良くなかったのに、小児科を受診した際  
には、(学校に行きたくない理由なども伝えたと3つ)  
「学校に行きたくない(行かない)のは体調面のことでも  
担任の先生と合わないことか大きい、この原因を解決

しなければ「学校に行けよ」にしなければならぬし、無理に  
行かない方がいい。「親として学校に行かなくていいのか」と  
親の対応を責める山  
しもう側面もありました。このJXLと子供を一緒に  
聞かされたので、一層学校に行かせづらくなりました。

学校に行けず、時間ばかりか経過していきうちに、  
日に日に子供の状態が悪くなっていくのが分かりました。  
はじめは、「学校に行かなくて塾に行き、受験勉強は  
しっかりする」と言っていました。塾にも行かなくなり、  
徐々に勉強もなくなり、鉛筆を握ることさえなくなりました。

焦り気持ち強まる中で、スクールカウンセラーや地域の  
相談センター等に相談に行ったり、不登校の本や記事などの  
情報を収集して読みあてました。とくに知識は  
増えるのですが、つまらぬ知識の対応となり、自分でそ  
れが責任が無い対応をしていこうにも思え、子供の状態が  
日に日に悪くなっていくのを見ていくしかなく、どうしていいか  
途方に暮れはかりました。

おれほど愛おしく、生きがいと感ずけていた子供なのに、全くの  
別人に変わっていき、今まで聞いたことが無いような罵声  
親に浴びせられるようになり、私としては「こんな言動を親に  
してはならない」といってとらえようとして出せず、手を挙げて  
しかたないの2つは」・・・と考え始めました。ただ、手を挙げて  
ても、何も解決せず、状況が悪化するとはわかっていたので、  
我慢するしかないと思っていました。どうしていいか

暗闇の中にいる感じでした。

そんな中で、ノアレッジ・チャイルドに会い、登校を目指している考えに共感し、薬をストップし、「家庭教育支援コース」から始めました。家庭教育支援コースでは、石川先生に担当していただきました。すると、やはり「反発」しかしてこなかった子供が、石川先生の言の通りの対応をすると、行動が変わってきたのです。その時には、あの地獄のような日々を考えると「もうノアレッジ・チャイルドのことを信じて対応するしかない」と思い、8月下旬から復学支援コースに変更し、対応するようになった。

初めて辻先生と面談した時のことは忘れられません。親が何をしてもらう通りに行かず、学校に行くことが億のくばかりだった時に、辻先生は113113話をして113の中で「(数か月後の)クリスマスには学校に行っているのよ・・・」とさらっと言われました。私はその言葉が全く信じられませんでした。とにかく信じて進めしかない・・・と思い、辻先生の言の通りの対応を始めました。

辻先生は常に安定した話し方で、私達の話を受け取り理解して下さり、その場その場で的確なアドバイスを下さっていました。そのため、電話をした後は気持ちで落ち着き、考えを整理して子供と向き合うことが出来るようになりました。何度もお電話でお話をしていると、「先生ならこのおっしゃる通り」...というところが予想出来るようになってきました。

いふ思えば、「さあさあ」との思いが強くなり、過干渉の代表選手のお父さん父親でしたので、支援を通じた私の対応が大幅に変わったと思えます。支援を受ける前は、夜に子供のゲームをやめさせるために子供とのバトルを行っていた時期がありました。支援開始後はゲームの制限をなくしたので、このバトルが無くなくなったことで心理的負担はなくなりました。ただ、一切口出ししなくなったので、子供はゲームをしたいだけし、昼夜逆転の生活となり、親としては「本当に大丈夫だろうか」という気持ちにはなりました。先のことから全く見えなかった日々のことを思えば「...と考えると、中途半端に自分で判断せず、全面的に指導に従おうと妻と決めて、2指導通りの対応を続けた。

ダイヤル外アポロ-4の日には、子供が「今まででめんてい、学校に行けるようになりそうです。〇日から学校に行きます」と親の前で宣言した際には、「父親は泣いてはいい」と言われていました。涙を止めるわけませんでした。

ダイヤル外アポロ-4の後には、先生方には22日ほどにわたって272-11通り1717ステップを踏み、学校に行けた日は感無量でした。辻先生、佐藤先生、石川先生と支えてくれた先生方には感謝を込めて申し上げます。親の言うことを全く聞かない状況となっていた子に対し、なんと早くリードしてくださったこと...と感心していました。支えてくれた先生には子供がよくなりました、全幅の信頼を置かせていただきました。

これより私は、自分が良いと信じていたことは何も  
疑いを持たずに子供や妻に押し付けていたと、私から  
良いと思っても、子供には子供の考えがあるからと、  
ことを今回気が付かされました。

復帰したのか小学校6年の11月下旬でした。中学受験は  
あきらめていたのか。辻先生、支えられた先生方と相談  
し、早く専らにしたいとき、何とか受験にチャレンジすること  
出来、本人から希望する学校に合格することになりました。  
支えられた先生からは、私共の打返を考慮した上で、  
細かくご提案、アドバイスをいただいたことに本当にありがとうございました。

一時期は、この子供は今後どんな人生を送ることになる  
のだろうか、と先か見えなくなっていました。ご支援のおかげ  
で、ほぼ元の生活に戻すことが出来ました。復帰後約1年半  
か程たちますが、受験事情があった日は毎日学校を  
休んでおりました。

「奇跡」という言葉を軽々しく使うものではないと思ってい  
ますが、この言葉を使い始めていたときはたいへん思います。

パアリンキ+270の先生方に支えられたとき、ご指導の力を  
たたく一生懸命に努力した結果なのだと改めて感じ  
ています。

本当にありがとうございました。

父より